

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

学校でつかう、えんぴつやけしゴム、ぼうしなどには、名まえをかきます。どうして、名まえをかくのでしょうか。

一つめのわけは、じぶんのものだすぐにわかるからです。学校には、おなじいりやかたちのものが、たくさんあります。名まえがかいてあれば、まちがえずにすみます。

二つめのわけは、おとしたときに、かえってくるからです。だれかがひろってくれたとき、名まえがあれば、もちぬしにとどけることができます。

名まえは、もちものの「なふだ」です。あたらしいものをもらったら、まず名まえをかきましょう。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) 名まえをかく一つめのわけは、なんですか。「から」につづくように、ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

(二) 名まえがかいてあると、学校でどんなよいことがありますか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア まちがえずにすむ。
イ あたらしいものがもらえる。
ウ えんぴつがおれにくくなる。

--

(三) 名まえをかく二つめのわけは、なんですか。「から」につづくように、ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

(四) ものをひろった人は、名まえがあると、なにができますか。二十字までで、かきましょう。
